

モンツァ、Monza

ミラノの北、ポルタ・ガリバルディから列車で15分のところにあるF1グランプリの開催で有名な街です。この街にはオーストリアの大公が命じて建てられた王宮があり、王宮の回りには広大な庭園があります。広大な芝生の広場、森、池などが自然の状態で配置されています。また、中に子供向けの遊園地もあり、今は市民の憩いの場となっています。F1のサーキットもこの庭の中にあり、この庭を全部歩くと丸1日かかると言われています。モンツァの駅の西側に旧市街があり、王宮は旧市街を通り抜けた先にあります。王宮の入口にはバラ園があり、5月のバラの季節には、観光客が集まります。旧市街には、ミラノのドゥオモを小型化したような大理石のドゥオモがあり、中には宝物館があり、この街の誇りとなっています。その他にも宮殿、教会など、中世の建物が立ち並んでいます。駅の近くには、リナシャンテもあり、ミラノの高級ブランド店も旧市街の通りに並んでいますので、ショッピングも楽しめます。

写真：





モンツァへは、ポルタガルバルディから列車で行きます。所要時間は普通列車で15分です。普通列車は約15分に1本くらい出ていますので、気楽に行く事が出来ます。料金も1.65ユーロと格安です。モンツァの駅は、ここの駅では珍しく東と西の両方に出口があります。東口は、新市街で、ミラノのベッドタウンですので、見るべきものは何ともありません。西口から出ると大きな通りがあり、そこをミラノと反対方向に歩くと直ぐにドゥオモの鐘楼が見えてきます。歩くと直ぐにリナシャンテがありますので、そこが旧市街の入口です。そこからは、石畳の道が続いています。その道がメイン道路で、カフェ、ジェラテリア、お菓子屋、洋服店、ミラノの有名店が軒を並べています。また、ドゥオモの中には宝物館があり、古いものを展示してあるそうです(ちょうどミサの時間で見られませんでした)。

その道を通り過ぎると、大きな道に出て、その先が王宮です。王宮の裏に広大な庭園がありますが、通りに面した王宮の正面入口にバラ園があります。正面からの王宮はとてもきれいです。王宮の裏へは正面からも王宮の脇を抜けて行く事も出来ます。裏の広大な庭には、木立に囲まれた池が人々を癒してくれます。また、木立の中にレストランもあります。自然の地形に、岩や小川を巧みに配置して造園しており、日本の公園のような雰囲気もあります。ここは、ミラノに近く、足の便も非常によく、観光旅行というより公園で癒されることを目的として、ふらりと出かけることをお勧めします。